



令和6年度

志和池小だより

くすのき



第1号

令和6年6月14日
都城市立志和池小学校



1年生だって発表できるよ

入学して2ヶ月たった1年生でもこんなに上手に発表でき、また聞けるようになっていきます。形式的に体を向けているだけではありません。「聞きたい」という気持ちが表情にも表れていますよね。

「○○だから・・・です。」なんて、理由も言えているんですよ。

そして、聞いている子どもたちは、発表に対して「これがよかった」等の反応があります。その反応が次の発表につながっています。

大したものです。1年生！

地域に支えられ(読み聞かせ)



今年度も、読み聞かせボランティア「志和っ池」のみなさんに朝の読み聞かせをしていただきます。

絵本だけでなく、ときには、紙芝居や図鑑も読んでくださいます。

＜今回の子どもたちの感想から＞

3年生

・お母さんに、20年も続いていると聞いて驚きました。

6年生

・高学年になると絵本を読む機会が減るけど、読み聞かせを聞くと読みたいなという思いになります。

・ちっちゃくなった気分です。

(1年生に戻った気分という意味)

地域に支えられ、子どもたちが本に触れる機会が増え、感性が育まれることはありがたいことです。

5月21日(火)は、6年生が「ものづくり体験教室」に取り組みました。県職業能力開発協会主催によって、都城市内の板金と造園業の方々に来校され、ものづくりの体験を提供してくださいました。中には、現代の名工と言われる方も来られ、ものづくりの楽しさとともに仕事の魅力についても考える機会になりました。

銅板による表札づくりや、箱庭づくりに取り組みました。

子どもたちの感想です。

- ・ものづくりにあこがれをもった。
- ・将来の仕事の候補として考えたい。
- ・2時間の作業で一生もの(表札)ができるぜいたくな時間だった。
- ・センスがないとできない仕事だと思った。
- ・これから大切に(箱庭を)育てていきたい。(箱庭)
- ・家に持って帰ったら、お母さんから、「えっ！すごい！かざっておこう」と言われ飾ってます。

一生ものの体験活動



働き者です

志和池小学校の子どもたちは働き者です。

朝、限られた時間の中で、高学年を中心にボランティア清掃をしてくれています。特に、今、草がたくさん生えているので懸命に草取りをしてくれます。

おかげで、ずいぶんときれいになってきています。

がんばっています。ありがとう。

